

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

◎注意事項をよくお読み下さい



〇概況

- ◆ 政策金利は据え置きとし、誘導水準を0.00～0.25%。(全会一致)
- ◆ 景気・物価見通しは、大型経済対策成立などを背景に21年は大幅改善、政策金利見通しの中央値は2023年まで変更されず。
- ◆パウエル議長は記者会見で、一時的な物価上昇が政策へ影響を与えないとし、早期利上げに慎重な姿勢を示した。

✓ FRBは3/16-17に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）で、政策金利であるFF金利の誘導目標を**0.00～0.25%（金利据え置き）**とした。**全員一致**。

✓ 声明文について、政策金利や資産買入の項目については文言の修正なし。

✓ 景気見通しについては、3月11日に成立した大規模な経済対策などを背景に**実質GDPは2021年を大幅に上方修正、22年も小幅に上昇修正した。失業率については21年～23年及び長期見通しを低下方向で修正した。物価上昇率はコロナショックの裏で21年は大幅に上昇、22～23年についても上方修正されたが小幅にとどまった。**注目されていたFOMCメンバーによる政策金利の見通しでは、**21年～23年の政策金利見通しの中央値は12月会合から変わらず、ゼロ金利政策が継続される見通しとなった。**なお、22年・23年に利上げを予想する当局者は22年は3名増加、23年は2名増加。

✓ パウエル議長は記者会見で、物価は今後数カ月上昇する可能性があるが、**一時的な物価の上昇は政策へ影響を与えないことを強調した。**また利上げについては、失業率だけでなく総合的な雇用の改善とインフレ率が目標の2%に達すること、更にしばらく2%を上回る水準となる必要があると説明。**早期利上げについて慎重な姿勢を改めて示した。SLR（補完的レバレッジ）規制については数日中に発表されるとの発言にとどめた。**

✓ 今回のFOMCでFRBの利上げ前倒しスタンスが示されるとの観測もあり、FOMCを前に米10年債利回りは一時1.6%台後半まで上昇。しかし、FOMC参加者やパウエルFRB議長の利上げに慎重なスタンスが示されるなどハト派色が強調されたことで上げ幅を縮小した。

FRBの景気見通し（3月会合）～GDP・失業率見通しが改善

	FRB見通し（中央値）			
	2021	2022	2023	長期
実質GDP	6.5↑	3.3↑	2.2↓	1.8
2020年12月時点	4.2	3.2	2.4	1.8
失業率	4.5↓	3.9↓	3.5↓	4.0↓
2020年12月時点	5.0	4.2	3.7	4.1
PCEインフレ率	2.4↑	2.0↑	2.1↑	2.0
2020年12月時点	1.8	1.9	2.0	2.0

FOMCメンバーの政策金利見通し～見通しの中央値は変更されず

	今後の利上げ回数	2021		2022		2023		Longer run	
		12月	3月	12月	3月	12月	3月	12月	3月
3.125	12回							2	2
3.000									
2.875	11回							1	1
2.750									
2.625	10回							8	8
2.500									
2.375	9回							1	1
2.250								3	4
2.125	8回								
2.000								1	1
1.875	7回								
1.750									
1.625	6回								
1.500									
1.375	5回								
1.250									
1.125	4回					1	2		
1.000									
0.875	3回						3		
0.750									
0.625	2回			1	1	1	1		
0.500									
0.375	1回				3	3	1		
0.250									
0.125	現在	17	17	16	14	12	11		
0.000									
平均値		0.125	0.125	0.154	0.194	0.257	0.403	2.492	2.478
中央値		0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	2.500	2.500

※数字は予想したFOMCメンバーの人数

【出所】FRB

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。